

## 第3回広瀬団地再ビジョン策定プラットフォーム定例会 議事要旨

### ■ 概要

---

- ・日時：令和6年9月20日（金） 13時00分～15時00分
- ・会場：広瀬第一集会室

### ■ 議事

---

- (1) ワークショップの結果について
- (2) 再生ビジョンについて
- (3) コンセプト・プロジェクトに係るグループワーク

### ■ 意見概要

---

#### (2) 再生ビジョンについて

- プロジェクトの準備に時間がかかってしまうと熱が冷めてしまう。そうならないように実現可能なプロジェクトからどんどん進めていきたいと感じている。
- 地域住民は県／市／公社がこういった機会を設けてくれることをうれしく感じているし、期待もしている。また、行政に頼りきりにならないよう、能動的に動かなければならないとも感じている。今後もプラットフォームに参加していない住民の意見をこのような場で共有できるようにしたい。

#### (3) コンセプト・プロジェクトに係るグループワーク

- 広瀬おそうじプロジェクト、あそび隊、情報発信は早期に実施できるプロジェクトだと考える。ワークショップの際には挙がらなかった神社の土地や建物を交流の場として活用する、開かれた神社プロジェクトも重要である。あそび隊やみんなの家プロジェクトは時間をかけながらも実施すべき重点的プロジェクトだと思う。また、それぞれのプロジェクト間で連携を図ればよりよいプロジェクトになるのではないかと考える。やりたいことを実現していくことで、笑顔につながり外部からの訪問者も増えるので、やりたいことを実現できる団地にすることが大事だと思う。
- ワークショップでは挙がらなかったが、広瀬川や飯玉神社は大事にするべきである。他にも、地域住民が先生になって他の地域住民に得意なことを教えられるような場も必要だと考える。また、ワークショップで出たプロジェクトを掛け合わせるとよりよいプロジェクトになるのではないだろうか。例えば、広瀬おそうじプロジェクトとあそび隊を合わせて1つのプロジェクトとしてみてもどうか。ヘルスケアプロジェクト、おそうじとあそびを合わせたプロジェクト、住民が先生になるプロジェクトの3つが早期に実施すべきプロジェクトであるとした。また、シェアする交通、広瀬繁華街、みんなの公園を重点的に実施していきたいプロジェクトとした。キーワードやコンセプトとしては、自分がやりた

いことを実現することで人が集まってくる、人が集まることで人との関わりが生まれる、関わりが生まれると団地に住みたくなる、団地に住む人が増えると笑顔が生まれるというサイクルになると考えたので、みんなが笑顔、smile が大事だと考える。

- 住まいや、公園、それに関連してイベントやあそびも重点的に実施していくべきプロジェクトであると考えた。一方で広瀬団地がどのような変化をしていくのかを発信する SNS やポータルサイトも必要であると感している。また、町の管理人のような行政と自治会の間を取り持つ組織があれば地域の活動が円滑に進められるのではないだろうか。